



校長室だより

2025年6月20日
丹波市立進修小学校
校長 松田 亜矢

引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、6月13日(金)に実施いたしました「引き渡し訓練」につきましては、ご多用の中にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご参加・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今回の訓練は、大雨などの自然災害が発生した際に、児童を安全かつ確実に保護者の方へ引き渡すための手順や体制を確認・習熟することを目的として実施いたしました。

訓練では、保護者への連絡方法(防災無線と安心メール)とし、実際の引き渡しと同じように連絡を受けてからお迎えをお願いすることとしました。子どもたちには事前に訓練についての話をして、真剣に臨むように伝えていました。低学年は静かに緊張した様子で待てていましたが、少し私語があった学年もあり今後の課題とします。児童の集合場所を教室に設定したことについては、体育館より教室の方が落ち着いた状態で子どもたちが待機することができると考えたからです。また、担任団で子どもたちの安全や状況を確認に見とることができます。地区担当だと保護者の方の顔がわからなかったり、複数地区を担当しているので、時間がかかったりすると思いました。ただし、今回の方法がベストがどうかはわかりません。災害の状況によっては、教室待機が難しかったり、職員の数が足りなかったりして体育館や運動場に集める場合もあります。その場合は、メールでお知らせします。

今後も、よりスムーズで安全な対応ができるよう、今回の訓練を振り返り、改善点を検討してまいります。

また、当日は駐車場が混雑する時間帯もございましたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、落ち着いた中で引き渡しを行うことができました。重ねて御礼申し上げます。

子どもたちの安全を守るためには、学校・家庭・地域が連携し、日頃からの備えと確認が大切です。今後とも防災教育の充実に努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

保護者の皆様の感想

・今回は、メールや放送を聞いてからの開始で、より実際の引き渡しに近い訓練でとてもよい訓練になったと思います。地震や雷など不足の事態に備えて毎年この形式がよいのではと思います。

・例年になく真剣な訓練とうかがっておりましたが、その言葉通り、大変実践的で緊張感のある訓練でした。先生方が冷静に対応されている姿は保護者として大変心強く感じました。改めて安全を守ることの重要性を再認識いたしました。

・今までと違う校舎内での引き渡しでしたが、児童が教室から移動しないほうが靴のはきかえも1回で済むので、動線が分かりやすく、親が迎えに行く場所もはっきりしていてわかりやすいと思いました。

・いつどんな災害が起こるかわからないこの時代に、このような訓練はすごく大事だと思うので定期的にするのがよいと思います。今後は登下校中に何か災害が起きた時の対応や学校生活以外でも家庭の中で確認することも大事だなと感じました。

・訓練当日は、晴れていて問題なく駐車場に車を止められたが、実際大雨などの時は、視界が悪かったりしたら混雑する気がします。昇降口近くまで車が列を作る前提の訓練があってもいいと思いました。

いろいろな貴重なご意見ご感想をありがとうございました。参考にしながら、今後も様々な災害を想定した訓練を実施していきます。

次は、不審者対応訓練を実施する予定にしています。

目的は、不審者が校内に侵入した場合に備えて、児童が身を守るための行動を考えさせる。教職員が連携して、児童の安全を第一に考えて迅速に通報・避難誘導・校内の安全確認を行い、実際の事態に冷静かつ的確に対応できるようにすることです。

最近でも小学校に不審な人が押し入りましたが、教職員が訓練を活かして連携した動きで児童を守ることができました。不審者については、どこからどう入ってくるか、何が起こるか予想することができません。だからこそ、子どもたちにも危機回避能力を育てるために一緒に考えていきたいと思います。

今回の訓練については、子どもたちにあらかじめ予告をしておいて、どう避難したらよいかを考える時間を作ります。教師に指示をされてから動くのではなく、自分で考えて動く力も育てたいです。訓練をする上で一番大切なことは「真剣にすること」です。自分の命を守るために真剣に訓練にのぞめるようにしていきます。